

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ！」

第1 1回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会実施要項

1. 大会の趣旨 団員にスポーツの歓びを経験する機会とより伸びるための研修の場を与え、バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する。
2. 主催 公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
公益財団法人日本バレーボール協会
日本小学生バレーボール連盟
公益社団法人和歌山県体育協会 和歌山県スポーツ少年団
和歌山県バレーボール協会
3. 後援 文部科学省
和歌山県教育委員会
和歌山市・和歌山市教育委員会
4. 協賛 株式会社ミカサ
大塚製薬株式会社
5. 支援 独立行政法人日本スポーツ振興センター
6. 協力 和歌山県小学生バレーボール連盟
公益財団法人スポーツ安全協会
7. 主管 第1 1回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会和歌山県実行委員会
8. 開催期間 (1)女子 平成26年3月27日(木)～3月30日(日)
(2)男子 平成26年3月27日(木)～3月29日(土)
9. 会場 和歌山ビッグホエール 「開会式・女子会場」
和歌山県和歌山市手平2丁目1-1 TEL 073-433-0035
和歌山ビッグウエーブ 「女子会場」
和歌山県和歌山市手平2丁目1-1 TEL 073-433-0035
和歌山東公園体育館 「女子会場」
和歌山県和歌山市北出島133番地 TEL 073-474-3331
和歌山県立体育館 「男子会場」
和歌山県和歌山市中之島2238 TEL 073-422-4108
10. 開会式 平成26年3月27日(木)午後3時より和歌山ビッグホエールで行う。
参加全選手はユニフォームで参加すること。
11. 大会日程 3月27日(木) 指導者会議、開会式、技術講習会、交歓交流会
3月28日(金) 男女予選リーグ一日目
3月29日(土) 男子予選リーグ及び順位決定トーナメント、閉会式
男子の閉会式は全団ともユニフォームで参加すること。
女子予選リーグ二日目
3月30日(日) 女子決勝トーナメント、閉会式
閉会式には全団ユニフォームで参加すること。

12. 参加資格 (1) 団員
下記の条件を満たす者で、都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する団員。
① 平成25年度日本スポーツ少年団登録をしている平成25年4月1日現在、小学校4年生から6年生の団員。
② 集団生活に際し、規則正しい行動のとれる者。
③ 大会日程に耐えられる健康な心身の持ち主で、大会参加に支障のない者。
④ 保護者に大会参加の承諾を得た上、通学校長に大会参加の届出を行った者。
- (2) 指導者
平成25年度日本スポーツ少年団登録をしている者で集団指導の能力に優れ、都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。かつ、下記の条件を満たすこと。
① 指導者（監督・コーチ・マネージャー）のうち1名は、有資格指導者（認定員・認定育成員）であること。
② 指導者（監督・コーチ・マネージャー）のうち1名は、公益財団法人日本体育協会公認バレーボール指導員、同上級指導員、同コーチ及び同上級コーチ有資格者、又は公益財団法人日本バレーボール協会ならびに日本小学生バレーボール連盟が共催する全国小学生バレーボール指導者研修会の受講証明書（指導者認定証）を所持していること。
③ 指導者（監督・コーチ・マネージャー）のうち1名は、成人であること。
- (3) その他
大会参加者は、大会主催者が指定する宿舎に宿泊し、勝敗に関係なく全日程に参加すること。
13. 競技規則 平成25年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び競技要項に準じる。
ただし、別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制を用い、さらに21点のラリーポイント制を採用する。
なお、3セット目は15点を先取したチームが勝者となる。14対14の同点になった場合、競技は2点リードに達するまで続行される。
また、別に示す「第11回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会確認事項」を遵守する。
14. 競技方法 試合はすべて3セットマッチとして、3位決定戦は行わない。
< 女子 >
・ 競技一日目は都道府県代表47チームに、開催地の1チームを加えた48チームを16ブロックに分け、各組3チームによる予選リーグ戦を行う。
・ 競技二日目は競技一日目の結果に基づき各組3チームによる予選リーグ戦を行う。
競技三日目は競技二日目の結果に基づき8チームによるトーナメント戦を行う。
< 男子 >
・ 競技一日目はブロック代表9チームに、開催地の1チームを加えた10チームを2ブロックに分け、各組5チームによる予選リーグ戦を行う。
競技二日目は残りのリーグ戦の後各組1位同士が対戦し順位を決定する。
15. チーム編成 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とし、選手については、同一の単位団所属であること。
なお、都道府県大会が実施される場合は、都道府県大会と同じ団員（選手）で編成し、病気・ケガなど特別な事情がない限り団員（選手）の交代は出来ない。
※大会期間中における監督、コーチ、マネージャーについては、特別な事情がない限り交代できない。
※監督・コーチ・マネージャーは、2チームを兼任することはできない。

16. 参加チーム数および人数とその選出

女子48チーム（1チーム15名以内） 計720名

参加チームは各都道府県1チームの計47チームと開催地より1チームの合計48チームとする。ただし、不参加県があった場合、前年度バレーボール登録女子団員数の順位により追加県の参加を認める。なお、この場合、同一市区町村より2チーム参加することは出来ない。

男子10チーム（1チーム15名以内） 計150名

全国9ブロック（北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州）から代表1チームと開催都道府県代表1チームの合計10チームとする。

（各ブロックにおいて協議し決定すること。）

17. 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革8枚軽量カラー4号球「ミカサボール」とする。（円周63.0±1.0cm、重量210±10g）

*スポーツ少年団マークが刷り込まれた「ミカサ」の人工皮革カラーボール（MVA500）を使用する。

18. 競技服装

選手の背番号は1～99までとするが、1～12までが望ましい。

ユニフォームを2着以上（色の異なるもの2種類以上）用意すること。

ユニフォームには、必ず団員章（原則として左肩）をつけること。

指導者（監督・コーチ・マネージャー）の服装は統一されたものとし、短パン・Tシャツは不可とする。

監督・コーチ・マネージャー章を各チームで用意し、必ず左胸部につけること。

19. 参加申込

各都道府県スポーツ少年団は、所定の申込書により本部長名をもって申し込むこと。また、申込書は2部作成し、平成26年1月24日（金）までに各1部を下記宛に、それぞれ郵送すること。

- 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

TEL 03-3481-2222

- 第11回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会和歌山県実行委員会事務局

〒640-8262 和歌山県和歌山市湊通丁北1-2-1 県庁南別館7階

公益社団法人和歌山県体育協会 和歌山県スポーツ少年団

TEL 073-431-1080

20. 組合せ

大会参加申込締切後、大会実行委員会で公開で責任抽選を行い、当該チームに通知する。なお、競技二日目の会場については指導者（監督）会議で周知する。

また、女子の三日目の決勝トーナメント戦については、競技二日目が終了後大会本部宿舎で抽選会を行う。

21. チーム集合

平成26年3月27日（木）午後1時まで和歌山ビッグホエールに集合。

22. 指導者会議

平成26年3月27日（木）午後2時より、和歌山ビッグホエール会議室で行う。

指導者（監督）は時間厳守のうえ必ず出席のこと。

23. 表彰

（1）女子

① 優勝チームには、賞状、優勝旗（持ち回り）、優勝杯（持ち回り）、賞品（楯・メダル等）を授与する。なお、優勝杯レプリカは、大会期間中に授与する。

② 第2位（1チーム）、第3位（2チーム）には、賞状、賞品（楯・メダル等）を授与する。

③ 特に敢闘を認められるチームには、賞状、賞品（楯等）を授与する。

④ 参加者全員に参加賞を授与する。

(2)男子

- ① 優勝チームには、賞状、優勝旗（持ち回り）、優勝杯（持ち回り）、賞品（楯・メダル等）を授与する。なお、優勝杯レプリカは、大会期間中に授与する。
- ② 第2位には、賞状、賞品（楯・メダル等）を授与する。
- ③ 参加者全員に参加賞を授与する。

24. 参加者の宿泊費及び食事代

大会期間中の宿泊・食事代等必要経費については日本スポーツ少年団が負担する。

25. 傷害保険 大会期間中（前後の各移動日を含む）は、公益財団法人日本体育協会が、開催基準要項に基づき参加者全員を被保険者として下記の傷害保険に加入する。

(1)支払われる保険金

- ① 死亡保険金 200万円
- ② 後遺障害保険金 後遺障害の程度に応じて6万円～200万円
- ③ 入院保険金 日額 3,000円（180日限度）
- ④ 通院保険金 日額 2,000円（90日限度）

(2)保険金の支払いについては、事故による傷害が対象となり、疾病は対象とならない（事故による傷害の場合、その治療費は被保険者本人が治療完了まで支払い、その後本人が所定の保険金請求手続きを行うことにより保険金が支払われる。）
なお、その他保険金支払いに係る詳細については、傷害保険普通保険約款及び国内旅行傷害保険特約条項による。

26. 携行品 (1)団体携行品

- ① 日本スポーツ少年団が交付した行進用の都道府県スポーツ少年団旗一式
- ② 交換用記念品として一人500円程度の郷土民芸品等を用意すること。

(2)個人携行品

- ① バレーボール用具一式
- ② 大会期間中の生活用品等
- ③ 常備薬、健康保険証またはそのコピー

27. 宿 舎 大会期間中は、参加者全員が大会主催者の手配した宿舎に宿泊する。

28. そ の 他 各チームにおいて以下のことに留意すること。

- ① チームエントリー選手以外の宿泊の申し込みはできないので、他の宿舎をチーム側で独自に手配すること。
- ② 選手の健康については、指導者及び保護者が十分に注意をして出場させること。

29. 問 合 せ 先 第11回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会和歌山県実行委員会事務局
〒640-8262 和歌山県和歌山市湊通丁北1-2-1 県庁南別館7階
公益社団法人和歌山県体育協会 和歌山県スポーツ少年団
TEL 073-431-1080 FAX 073-433-4408

この事業はスポーツ振興基金助成活動事業であり、このスポーツ振興基金の助成金は、政府からの出資金とスポーツ振興基金支援企業グループからの寄付金を財源とし、その運用益により助成金が支払われます。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆